講座番号	413	体系区分	専門研修	主催	京都府総合教育センター

令和３年度

「指導と評価の一体化」を目指す小中外国語教育講座Ⅰ
～小中の評価の在り方～
実施要項

講座のねらい	評価について具体例を通して学び、授業改善を進めるとともに、小中連携を進める方策について考える。
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応	ステージ２　中堅期（７年～１５年）　観点：学習指導 ・学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ・学習過程や成果に対して的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。 ステージ２　中堅期（７年～１５年）　観点：京都ならではの教育 ・グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。
受講対象	教諭（小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部）及び外国語科担当教諭（中学校、義務教育学校後期課程、高等学校、特別支援学校中学部及び高等部）
定員	１００名
日時	令和３年　６月　９日（水）　　１３：００～１７：００
会場	京都府総合教育センター

	講義題等		内容
13:00	講義Ⅰ	小学校における学習評価の現状と課題	・小学校における学習評価の現状と課題について知り、適切な評価を行うために大切なポイントを理解する。
		文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官 国立教育政策研究所　教育課程調査官　山田　誠志	
14:15	講義Ⅱ	中学校における学習評価の現状と課題	・中学校におけるこれまでの実践から評価について現状と課題について振り返り、新学習指導要領の趣旨にそった評価の在り方について理解する。
		文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官 国立教育政策研究所　教育課程調査官　山田　誠志	
15:30	講義Ⅲ・演習	小中連携を通して、評価の在り方について考える	・小中それぞれの現状と課題を踏まえ、今後の小中連携で大切になる視点を「学習評価」というテーマのもと考える。
		文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官 国立教育政策研究所　教育課程調査官　山田　誠志	
17:00			

その他

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、会場は座席の間隔をとり、換気を行います。マスクの着用、センター玄関での手指の消毒又は石鹸での手洗い等を各自行ってください。

・携行品……「学習指導要領（平成29年告示）解説　外国語活動・外国語編」（該当校種のもの）※高等学校については平成30年告示のもの

小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部担当教諭
- 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（小学校外国語・外国語活動）」（国立教育政策研究所）

中学校、義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部担当教諭
- 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（中学校外国語）」（国立教育政策研究所）

高等学校及び特別支援学校高等部担当教諭
- 「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校外国語）」

・担当部……研修・支援部　　TEL：075-612-2952